

(様式2)新規評価シート

事業種類		治山・砂防		事業名		山地治山			
市町村名		売木村	ふりがな 箇所名	ほくしょうさわ 牧場沢		事業年度 (完了年度は見込み)	H26 年度～	H27 年度	
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	全体	谷止工 1個、流路工200m			45,000	国庫	その他	県債	一般財源
	H26年度	谷止工 1個			29,000	14,500		11,600	2,900
箇所評価	区分	評価項目・指標等		評価区分			①得点	②重み 係数	③評点 (①×②)
	必要性	保全対象人家	■ 10戸以上	□ 1～9戸	□ 0戸	25		0.2	18
		保全対象公共施設	■ 2箇所以上	□ 1箇所	□ なし	25			
		保全対象に災害時要援護者関連施設があるか	□ 重要施設	□ 一般施設	■ なし	0			
		事業目的(保安林・林業用施設)	■ 「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上	□ 保安林率30%以上50未満又は流域対策上保全すべき森林あり	□ 保安林率30%未満	40			
	小計					90			
	重要性	過去の災害履歴	■ 過去5年に1回以上	□ 災害履歴地	□ なし	30		0.1	8
		交通遮断による地域経済などへの影響	■ 大	□ 中	□ 小	30			
		防災計画上の位置づけ	□ あり	■ なし		20			
		小計				80			
	効率性	費用対効果(B/C)	■ B/C2.0以上	□ B/C1.0以上2.0未満	□ B/C1.0未満	40		0.1	9
		早期発現度	■ 3年未満	□ 3年以上5年未満	□ 5年以上	40			
		流域の総合調整	□ あり	■ なし		10			
		小計				90			
	緊急性	最寄の保全対象までの距離	□ 50m未満	□ 50m以上200m未満	■ 200m以上	5		0.4	20
		平均溪床勾配(平均山腹勾配)	■ 10°以上(30°以上)	□ 5°～10°未満(20～30°未満)	□ 5°未満(20°未満)	25			
		下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)	□ なし	■ あり(概ね満砂)	□ あり(ポケットあり)	10			
		山地災害危険地区危険度	□ Aランク	□ Bランク	■ Cランク □ なし	10			
		小計				50			
	計画熟度	地域からの要望	□ 地域住民活動強い	■ 市町村要望有り	□ 特に要望ない	25		0.2	14
事業情報の共有		□ 関係者以外にも周知	■ 関係者中心に周知	□ 特に周知していない	25				
県民参加と協働		■ あり	□ なし		20				
小計					70				
費用対効果(B/C)		6.81		評価の合計				69	
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	平成25年9月の台風18号災害により発生した山腹崩壊を発見した住民からの連絡により、村が現地を調査し、既設堰堤を乗り越えた土砂流出も確認。土砂の流出により作業道も被災したほか、溪流内には不安定土砂も堆積しており、今後の大雨等に備え早期復旧の要望がなされた。							
	地域からの要望経緯	流出した土砂により沢の水が濁っていたことから、9月17日に地元より、村を通じて現地調査及び復旧の要望があがった。							
	事業説明等の経緯	25年10月2日現地調査を行った際に、現場にて林務課から村及び地上権権利者の林業公社へ事業説明を行った。							
	環境・景観への配慮項目	特になし。							
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。							
	特記事項	保全対象に含まれる山村留学センターの児童を中心に、治山事業の学習会を計画中。							
地域の合意形成		□ 全員賛成	■ 概ね賛成	□ 過半数賛成	□ 動向不明				
部意見	平成25年9月発生台風により、新たな山腹崩壊が発生しており、今後更に拡大するおそれが高いことから、対策を図る必要がある。				行政改革課意見	H25.9発生台風18号で山腹崩壊が発生し、溪流内に不安定土砂が堆積していることから、必要性、重要性が認められる。			